

## New Products

**Mana Plus/ヨシダ**  
 <歯科用システムキャビネット>


機能・サイズ・かたちを選んで医院のスタイルに合わせた最適な空間をつくる歯科用システムキャビネット“Mana Plus（マナプラス）”がヨシダから発売されました。計6色のカラーを用意し、ゴージャス間のある空間や優しいぬくもりを感じる空間など、医院の雰囲気に合わせて選ぶことが可能です。

## 【特徴】

- エルゴノミックデザイン（シェイプライン）の採用で、つま先がキャビネットにあらずレックススペースに余裕を生み出します。
- 新機能の耐震ラッチを標準装備し、収納物の落下を防ぎます。
- 上部キャビネットには扉がゆっくり閉まるソフトクローズ丁番とスイッチに触れずに ON/OFF できるタッチレス LED 蛍光灯を採用しました。
- ミール収納カウンターを用意し、ジェットウォッシャーをキャビネットからはみ出すことなく収納でき、見た目や使い勝手が向上します。
- パール系2色、ウッド系2色、ナチュラル系2色の計6色から選ぶことが可能です。

標準価格＝仕様選択のため要相談

**OP-Dent/日本歯科商社**  
 <手術顕微鏡>


クリアな拡大視野・快適な操作性を実現する手術用顕微鏡“OP-Dent”が日本歯科商社から発売されました。クリアな拡大視野下で、より精密な診断が可能で、軽量・コンパクトなシザースアームは位置決めから収納時までスムーズに操作が行えます。

## 【特徴】

- 可動範囲0°～240°の可変鏡筒、3.5～21.0倍までの5段階変倍、約20mmの焦点調整機能、最大50,000Luxまで調整可能なLED光源等の機能を搭載。LEDの光量はパネルスイッチで調整が可能です。
- コンパクトながら十分な可動範囲のあるシザースアームを採用し、観察部位にアクセスしやすいストレスフリーな操作感です。
- アンバー・自然光・フィルタなしの3つのフィルタ切替えが可能です。
- 口腔内情報を共有できる専用のFHDカメラを搭載可能。外部機器と接続することで映像の表示や録画も可能です。

## 標準価格＝

フロアスタンド 1,772,200円  
 フロアスタンド・カメラ付 2,322,200円

**エルゴフィンガー**  
 /クロスフィールド  
 <バキュームアダプター>


術者と患者さん双方に優しいフィンランド生まれのバキュームアダプター“エルゴフィンガー”がクロスフィールドから発売されました。指先の延長のように自然にバキューム操作ができるので、無理な姿勢を避けることができ、身体にやさしく快適な診療が行えます。また、360°回転し、長さも調節できるチップで、部位に最も適した形態にすることが可能です。特に超音波スケーラーやエアポリッシング、PMTCやシーラント塗布等、有効に活用できます。

## 【特徴】

- エルゴノミックなデザインで身体にやさしいバキュームアダプターです。
- バキュームのコントロール性能が向上し、アシストの必要性が少なくなり、一人でも快適な診療が可能です。
- 術者の不要な動作が減ることによる処置の効率化と時間短縮が行えます。
- ディスプレイタイプで患者さんへの感染予防を提案します。
- S-MサイズとL-XLサイズの2種類をラインナップ。

標準価格＝50本入 12,000円

## My Recommendation

**『H1SEMシリーズ』**  
 <コメント>


標準価格＝1本 980円

**錆の悩みを解消!**

今回ご紹介させていただく商品は、コメットの軟象除去用マイクロレバレーションバー『H1SEMシリーズ』です。

- ①刃部にクロスカットが施されており振動、目詰まり、発熱がよく低速回転で使用することにより健全象牙質と軟化象牙質の切削感の違いがわかります。
- ②スリムネック&ロングネックで視認性が高く隣接面へのアクセスがしやすい。
- ③カーバイド製（軸部はステンレス製）で錆に強い、といった特徴があります。

ご使用いただいている先生からは、「今までスチールバーを使っており、すぐ錆びてしまい困っていたが、錆の心配もなく切れ味も長持ちする。」とのお言葉をいただいております。10月20日までの期間、特別キャンペーンを行なっておりますので、この機会にぜひともお試しください。よろしくお願いいたします。

長崎店 営業一課 山田 茂春

## 歯科医院経営を考える(480)

### ～ 衛生士の給与体系と昇給 ～

デンタル・マネジメント・コンサルティング  
稲岡 勲

地方都市の知り合いの先生から相談の電話がかかってきた。衛生士が突然8月で退職したいという。理由を聞くと「給与が低いから」といい、給与を上げてくれるなら考えてもよいという。給与額を聞くと勤務して5年目に入る衛生士で、支給総額が皆勤手当1万円、衛生士手当1万円、通勤手当7千円を含めて205千円で、歯科医師国保や税金を引くと手取りは19万円を切るという。最近では地方でも衛生士の給与は上昇してきているが、これでは低いと言わざるを得ない。最近では都市部の場合新人の衛生士でも所得税等の控除額を差し引いて手取りが20万円近くになっているケースが多い。少なくとも税等の控除後の金額が21～22万円前後になる程度の給与が必要ではないか？聞けば勤務態度もよく、口腔衛生指導も積極的にこなしているという。提案したのは手取りが21万円になるように昇給するということと、昇給決定の前に一度当該衛生士と面談し、希望通り昇給するが、あなたの将来に期待しており、具体的な研修目標を示して、それを習得して立派な衛生士として成長してくれるならあなたの希望を全面的に受け入れるが、あなたの考えはどうか？と聞いてもらいたいと提案した。特に上に古参の衛生士がいるとどうしても新人の衛生士の給与額が低くなる傾向がある。この歯科医院の場合も50歳後半の古参の衛生士が居てその給与と差額を考慮して昇給を抑え気味にしていた結果が上記の給与額になっている。これは衛生士に限らず看護師の給与も同じような傾向になっているが、30歳後半から40歳近くになると給与ベースが頭打ちになる傾向がある。それは医療界の収益構造の特徴だと思う。ただ管理職の場合は別で、管理職手当がついて給与総額も大きくなるが、医科の看護師の場合は衛生士と同様の傾向がみられる。栄養士の場合もそのようなケースが多い。伸び盛りの20歳後半の衛生士の場合は、思い切って昇給しベテランの衛生士の給与との差が縮んでも容認すべきである。30歳前後からは、実力主義の給与体系にして、年齢差をなくして先輩の衛生士よりも給与ベースが高いといった給与体系を容認すべきである。ただし古参の衛生士の場合で、後輩の衛生士の面倒をよく見ている場合は、管理職手当の支給によりカバーすべきだと思う。勿論給与ベースだけの問題ではなく、能力、努力等本人の評価を体系づけるべきである。

(つづく)

※玉手ニュース 2017年 9月号より転載。

## New Books & Video

### ★今週の新刊

#### 『 歯科がかかわる地域包括ケアシステム入門 』



地域包括ケアシステムとそれに関連する制度や、各種歯科医療の技術をどのように在宅の場で用いるのか、そのヒントや実例を提示。さまざまな職種や制度が関係する地域包括ケアシステムのなかで、どのように歯科の特性を生かし、どう患者を支えるのか、超高齢社会に求められる歯科医療を理解して実践するための道標となる一冊。

- 編 =市川 哲雄/白山 靖彦
- 出版=医歯薬出版
- 価格=4,500円+税

#### 『 多職種連携で活用！ポケット版 歯科衛生士のための医療用語・福祉用語 』



多職種連携の場面が増える歯科衛生士必携のミニ辞典。用語は身近でよく聞く用語、略語、カタカナ語、制度・行政用語などを中心に収載し、臨床現場にとどまらず、臨床・臨床実習を行う際にもポケットに携帯し確認したい時にいつでも調べることができるポケット用語集。

- 編 =尾崎 哲則/藤井 一維  
武井 典子/吉田 直美
- 出版=医歯薬出版
- 価格=2,200円+税